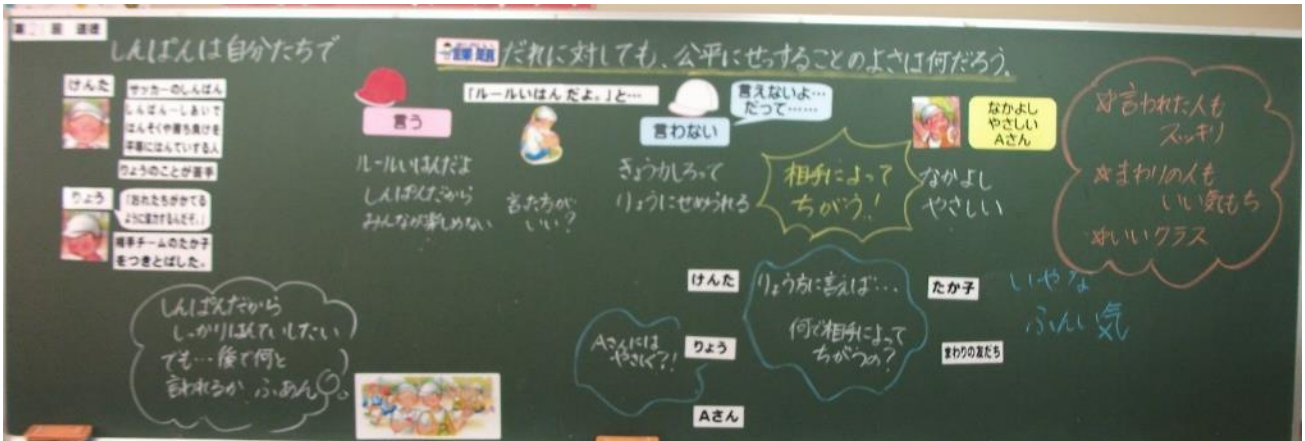


三郷市立新和小学校

中学年部会

主題名 正しく強い心 【内容項目 C 公正、公平、社会正義】
 教材名 「しんぱんは自分たちで」
 (「みんなのどうとく」学研教育みらい)



アンケート結果を活用した導入



赤白帽子で立場を明確にして役割演技



「心のもものさし」を活用して自分を振り返る



毎時間の積み重ねの「足あと」

1 授業者から（「私の授業の観てほしいポイント」の説明、授業についての感想等）

【私の授業の観てほしいポイント】

- ①自分ごととしてとらえさせるための工夫
- ②板書の工夫について

【授業についての感想等】

- 「自分のこととして考えさせる」「不公平な態度は周りも嫌な気持ちになる」の2つのポイントを入れて指導案を変更した。
- 「分かっているけどできない」学級に実態から、「判断力を養う」に設定した。



2 各グループからの発表（ワークショップ型分科会）

【①のポイントについて】

- 役割演技を取り入れ、多面的・多角的に考えられていた。
- 「心のものさし」のグラデーションで自分の気持ちを表すことができていた。一人一人が使って発表するとさらに深まるのではないか。

【②のポイントについて】

- 「課題」が中心にあり、何を考えるのかが明確だった。
- 横に流れる板書が良かった。Aさんの言う、言わないを対比させると分かりやすいのではないか。
- 課題は、「よさ」は何かではなく、「何が大切だろうか」だと、さらに深まったのではないか。



3 指導講評

- 児童の返事がとても素晴らしかった。子供たちと心をつなげて実践しており、これまでの積み重ねが本時の授業でより響いた。
- 「主体的・対話的で深い学び」が授業の中に組み込まれていた。討論があるとより深い学びになった。
- 「心のものさし」の活用（グラデーション）が分かりやすかった。自分の意見を変えていってもよかった。
- 役割演技で2つの気持ちを体験することで、しっかり考えることができた。周りの友達を交えての役割演技でも多面的・多角的にとらえることができたかもしれない。
- 子供の意見をT-Cではなく、T-C-Cのように、教師が整理し、クラス全体に広めていくようにしたい。
- 板書は、課題を意識して、さらに構造化していきたい。
- 困っている「けんた」の気持ちは、奥にある気持ちを考えさせ、もう少し深めていきたい。
- 「課題」に戻ったのがよかった。

